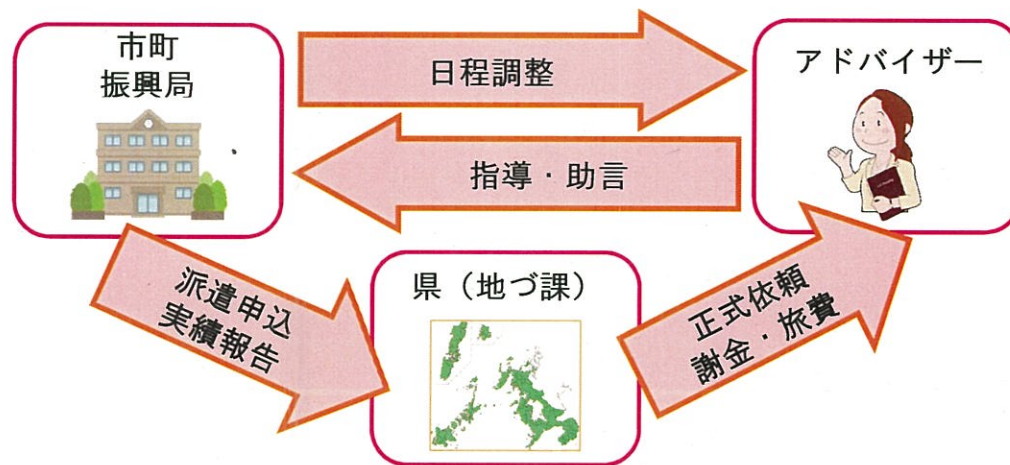


# 小さな楽園プロジェクト推進事業(アドバイザー派遣)

地域が抱える課題を解決するため、地域の付加価値や魅力の向上に取り組む市町やまちづくり協議会等が、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家(アドバイザー)を招へいし、指導・助言を受けながら取組を進める場合の外部専門家の招へいにかかる必要な経費について県が支援する。※他課所管で同様の事業は除く



## 外部専門家(アドバイザー)の選定

- 希望のアドバイザーがいる場合は、県にアドバイザー名、指導・助言内容を事前相談のうえ、アドバイザーと日程調整
- 希望のアドバイザーがいない場合は、県に相談し、県がリストアップしたものを市町に提示
- 【九州・山口地域づくり人材ネット】の活用  
・九州・山口県で人材情報をリスト化(97名)  
<http://www.pref.oita.jp/chijikai/chihosousei/chihosousei4pt-jinzainet.html> (九州地方知事会)

## 支援内容・手続き

- 経費の負担  
アドバイザーにかかる謝金・旅費を負担
- 派遣回数  
派遣の効果が高く、同一市町内の他地域での実施や内容をステップアップする場合には、同一のアドバイザーについて累計3回まで派遣可能
- アドバイザーの派遣を希望する市町等は県地域づくり推進課へ申し込む。(事前に人選について相談すること)

# 小さな楽園プロジェクト推進事業(アドバイザー派遣)

## 活用事例

- 少子高齢化が進み、地域コミュニティを維持することが難しくなってきたため、コミュニティの維持・活性化の新たな仕組みをつくりたい。
- 地域の人たちが自主的に「小さな拠点」づくりに取り組むための手法や地域づくりを続けるための「稼ぎ方」を知りたい。「小さな楽園」PJの内容を聞きたい。
- 高齢者が地域で元気に暮らしていけるよう、「生涯活躍のまち」づくりの話が聞きたい。また、地域包括ケアシステムとどうつなげていくかを聞きたい。
- 増え続ける空き家を有効活用する方法を知りたい。また、運営についての工夫を知りたい。

ステップⅠ

ステップⅡ

ステップⅢ

専門家(アドバイザー)の講演

- 地域活性化の取組の進め方など基本的なことを知りたい。
- 地域の意識醸成を図りながら、地域住民の皆さんが中心となって地域活性化の取組を進めていきたい。

(例)まちづくりアドバイザー  
地域経営アドバイザー 等

専門家(アドバイザー)を交えながら、ワークショップ等による話し合いを実施

- 地域の課題や強み・弱みといった地域のことをまず知り、考えていきたい。
- 地域の将来像やビジョンを描き、地域課題を解決するための具体的な計画をつくりたい。

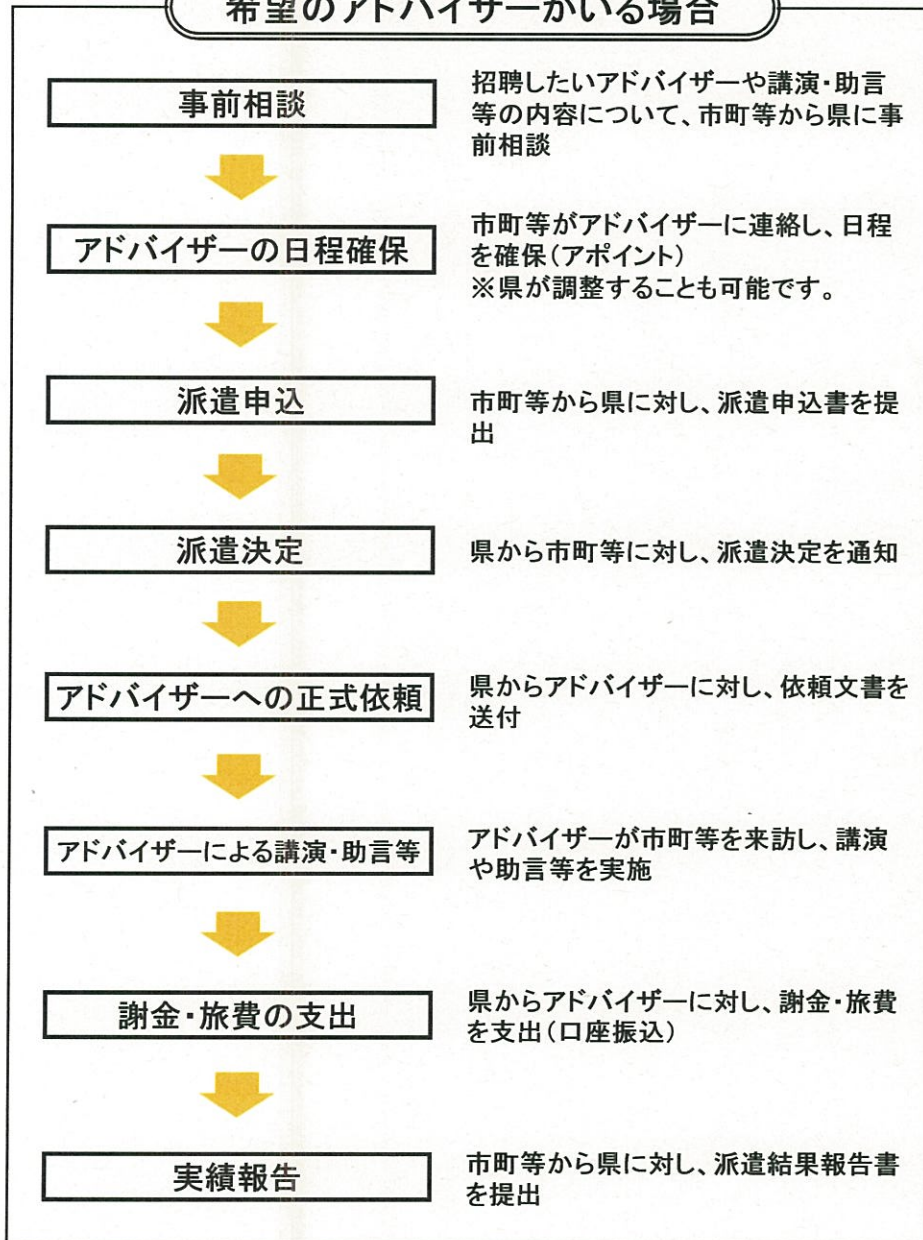
(例)地域経営アドバイザー  
定住促進アドバイザー 等

- これまでの地域の取組を見直し、今後の取組をステップアップするために、必要なことを考えたい。
- 自立性・継続性のある取組としていく上で、必要となる安定的な財源の確保や担い手人材の育成・確保 など

(例)ブランド化アドバイザー  
観光振興交流アドバイザー  
農林水産業アドバイザー等

# アドバイザー 派遣の流れ

## 希望のアドバイザーがいる場合



## アドバイザーの心当たりがない場合

